

まほるば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第63号

2006年9月発行

自動体外式除細動器(AED)の設置

当院では、8月22日(火)、自動体外式除細動器(AED: Automated External Defibrillator)を院内4か所に設置しました。

AEDとは、心臓の心室がこきざみに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、心臓に電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す器械です。平成16年7月から一般市民による使用が認められ、救急における心肺蘇生法として期待されています。

AEDの設置に当たりましては、職員に対する操作法の説明会を開催し、ビデオ学習や人体を模擬した人形への操作等を行いました。説明会当日は、医師はもとより、看護師や薬剤師、その他の医療スタッフ、

事務職員まで多職種にわたって参加し、参加人数も予想をはるかに上回りました。

AEDは、写真のようにAED BOXに入っており、更に赤い収納ケースに入っています。電源を入れると音声ガイドが流れ、作業手順を説明してくれます。一般市民の使用が認められているだけあって、心電図の自動解析やショック必要時の自動充電などには便利さを感じました。



臨床工学技士 谷川原勝史

感染管理認定看護師になって



私は、この度、感染管理認定看護師として日本看護協会に認定されました。

認定看護師とは、特定の看護分野において、患者様に対する水準の高い看護の「実践」と、看護者に対する

「指導」・「相談」を行うという役割があります。

また、感染管理看護師の主な活動内容としては、患者様と病院で働く全職員を病院感染から守り、医療の質の向上につなげるという目的のもとに、①病院感染サーベイランスの実践、②効果的な感染防止対策の立案・導入・評価、③職業感染防止、④感染

防止教育、⑤ファシリティマネジメント(療養環境整備)の推進、⑥コンサルテーションなどを行います。とは言っても、この活動は私一人では到底できるものではないので、様々な部門との協力・連携は絶対に必要です。当院の理念である良質かつ適切な医療を行うためにも、病院全体で感染対策を実践し、安全で安心、そして満足を得る医療・看護を目指したいと思っていますので、どうぞご協力をよろしくお願いします。

また、職員の皆さんも、私をどんどん活用(まだまだ頼りないですが…)していただければと思っていますので、いつでも気軽にお声をかけて下さい。

看護師 佐藤 直美

ひろさき路上文化発信 - カルチャアロード -

今年も9月10日(日)、土手町通りにおいて「カルチャアロード」が開催されました。時折土砂降りに見舞われ、快晴の秋空の下とはなりませんでしたが、たくさんの方が訪れていました。

この日、土手町通りは歩行者天国となり、市民の様々な活動や地場産業が紹介され、出店あり、子供向けのゲームコーナーあり、大人から子供まで楽しめるイベントでいっぱいでした。中でも、蓬萊広場での消防蒸気ポンプによる放水やミニコンサート、来年開催される「スポレクあおもり2007」のPRイベントなどには、立ち止まりカメラを向けている方

も多かったようです。

通りを行ったり来たりしているうちに、いつの間にか手にはたくさんの荷物。ヨーヨー釣りやゲームの戦利品から、わたあめやコーヒードーナツなどのお菓子まで。物だけではなく、様々な情報も得られ、とても楽しい一日でした。



庶務係 工藤 真淑

病院機能評価全体会議を開催



当院は、平成19年5月に日本医療機能評価機構による病院機能評価審査を受けることになり、会議では、これからの作業等についての説明や質疑応答を行いました。現在、全国9,077病院のうち、2,164病院がすでに認定され、青森県では県立中央病院他4病院が認定を受けています。全国的にみても、時代や社会の要請に前向きに取り組んでいる病院の多くが受審し、認定されているようなので、当院も負けてはいられません。

さて、受審は、審査項目に対する自己評価を行い、その結果を機構に提出し、サーベヤーによる訪問

審査となります。この間に、院内ラウンドや講演会、説明会等、受審支援の機会があります。

そこで自己評価ですが、ありのままをできるだけ客観的に評価します。過大評価も過小評価もいけません。大事なことは、自己評価後の対応です。不足と思われる項目については直ぐに行動を起こしましょう。訪問審査までに、改善したことを示すことができれば良いのです。

今回の受審は、まず受審すること自体に意義があり、もし問題点が明らかになった場合には、その改善に向けて全職員が一丸となって取り組むことに更に大きな意義があります。さあ、みんなで一歩前進しましょう。

臨床研究部長 泉井 亮

接遇講演会を開催 — ホスピタリティ不全症候群への処方箋 —

9月14日(木)、ホスピタリティ開発トレーナーの木島先生を講師にお迎えして行われた接遇の講演会は、「ホスピタリティとは？」から始まり、「ありのままの相手を受け容れ、尊重し、手助けすること。また、そのようであろうと志向する心の持ちようのこと。」がホスピタリティです。

ホスピタリティを向上させるための考え方と実践について、ホテルスクールでの学生指導室長や副校長などを歴任された色々な経験を通して講演していただきました。ユーモアを交えての講演に会場も笑い顔と大きな笑い声。楽しい雰囲気の中で「心遣い」

や「言葉遣い」、「応える」とはどういうことか、また電話の対応の仕方など日常の話し方や立ち振る舞いを反省することしきりでした。実践でも、立礼の方法や手の動きを添えた案内の方法など、直ぐにでも取り組めるものばかりでした。



医療人としてだけでなく、人として学ぶことがたくさんあった一時でした。

看護教育委員会委員長 福士 英子

〇〇の秋～



待ってました。実りの秋！食欲の秋！の到来です！！

ついこの間までは暑くてたまらなかったのに、朝晩めっきりと涼しくなりました。秋は食欲の季節。色々美味しいものが出回ります。

つつい食べ過ぎてしまい、ダイエットを目指している方には辛い季節です。涼しくなったら歩こう！運動しよう！秋になったらシャガール展でも見に行こうかしら…等々、スポーツ・芸術の秋を目指したいのですが、やっぱり食欲には勝てそうにありません。「実りの秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「読書の秋」、「芸術の秋」、「〇〇の秋」、貴方の秋はどれでしょう？

この時期の旬の魚と言えば、何と言っても「秋刀魚」です。「秋刀魚が出ると按摩が引っ込む。」と言われるほど秋刀魚の栄養価は高く、昔から夏バテのスタミナ補給として知られていました。また、胃腸を温め、疲労を取り除いたりする効果があり、夏の暑さで疲れた体を回復させるにはぴったりです。秋の食卓に秋刀魚が上ると、夏バテや肩こり、腰痛が治ると言われており、鰯や鯖に次いで頭の良くなるDHA（ドコサヘキサエン酸）、動脈硬化を防ぐと言われるEPA（エイコサペンタエン酸）が多く含ま

れています。更に、ビタミンA（目の劣化予防、がん予防）、ビタミンB₁₂（貧血予防）なども豊富に含まれており、これにビタミンCのレモンと大根おろしを添えれば栄養満点です。

最近では冷凍技術が発達して、秋刀魚も一年中市場に出回るようになりましたが、この時期のものが一番。美味しさも、栄養としても、旬のものを美味しくいただきたいものです。ジュッと火であぶるとあふれ出る脂。塩焼きにして大根おろしを添え、何杯でもご飯が食べられそうです。もちろんお酒の肴としても最高です。塩焼き、蒲焼き、竜田揚げ、すり身、南蛮漬け等色々な料理にチャレンジしてみてください。ただし、小骨には十分注意して食べて下さい。何年か前に、秋刀魚の骨が喉にささり、どんぶりいっぱいのごはんを飲んでも取れなくて、病院に行こうとした私です。

美味しい秋刀魚の見分け方

- 目が透明で透き通っているもの
- 背が青黒く、全体的に青光りしているもの
- エラが鮮やかな赤でヒレがピン！とはっているもの
- 身がしまっていて太目のもの
- うろこがついているもの

主任栄養士 野呂 直子

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2006年9月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科		人見博康	小沢一浩	人見博康	小沢一浩	小沢一浩
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器科		佐藤年信 吉谷元	佐藤年信 中畑元	佐藤年信 吉谷元	中畑元 (吉谷元)	佐藤年信 中畑元
小児科		杉本和彦 佐藤啓	野村由美子 遠藤泰史	杉本和彦 佐藤啓	遠藤泰史 野村由美子	杉本和彦 野村由美子
外科		山中祐治 坂本義之	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 山中祐治	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 坂本義之
整形外科	午前	柿崎寛成 佐々木資嗣 近江洋	柿崎寛 菅原卓	佐々木資成 田中大	佐々木資成 大鹿周佐	柿崎寛 田中大
	午後	/	/	/	/	柿崎寛
脳神経外科		/	/	木村正英	/	/
皮膚科	午前	鳴海博美 大嶋英恵	鳴海博美 大嶋英恵	鳴海博美	鳴海博美 大嶋英恵	大嶋英恵 鳴海博美
	午後	/	●手術	鳴海博美	●手術	大嶋英恵
泌尿器科		橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘
産婦人科		真鍋麻美 工藤香里	佐藤春夫 工藤香里	真鍋麻美 工藤香里	●妊婦健診	佐藤春夫 真鍋麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央	●手術	黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	/	阿部由直 (午後)	/	/	/
麻酔科		●手術	工藤明	●手術	工藤明	●手術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

自治会バザー&お茶会



とともに、患者様や学生に気軽にお茶を楽しんでいただくため、看護学校実習室で「お茶会」も行われました。

学生達は、1か月前から企画・運営を始めており、前日には、体育館に飾り付けを行ったり、茶道部の部室(学生寮)から置や道具を運んで特設茶室を設置したりと大忙しでした。

当院の職員からもバザーの商品を出展してもらい、

8月30日(水)、看護学校体育館において、自治会主催の「バザー」が開催され、また同時に看護学校茶道部が、日頃の稽古の成果を発表す

各病棟の協力もあり、患者様や職員の皆様にも楽しんでいただけたようです。

バザーの商品はほとんど完売し、お茶会に来ていただいたお客様も50名近くと驚くほど大盛況でした。患者様と学生間の交流も図られ、少しでも入院生活を送っている患者様の気分転換を図ることができたと思います。

バザーの収益の一部は、日本赤十字に募金させていただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお祈りします!

教員 漆原美智子



【職場紹介】 理学療法室



理学療法室は、理学療法士4名・マッサージ師1名の計5名で運営しています。

私たちは、病院の理念とリハビリテーションの理念に基づき、患者様が障害を持ちながらも尊厳ある人生を送られることを目指し、良質かつ適切なリハ

ビリテーションを提供しています。

理学療法は、病気や怪我、寝たきりなどによって身体が不自由になった方に対し、医師の指示に基づき、身体と心の両面から機能の回復や維持といった治療に取り組んでいます。また同時に関節可動域運動や筋力増強運動、起居動作練習、歩行練習等様々な運動や指導を行い、日常生活動作の向上につなげて行きます。必要に応じ物理療法（温熱、寒冷、電気）や装具療法などを取り入れています。

現在、整形外科疾患、急性期の脳血管障害などの疾患を中心に入院・外来合わせて一日約100名の患者様のリハビリテーションを行っています。

先天性・後天性の病気で、発達や運動機能に障害を持った小児を対象に発達学的アプローチも行っています。早く生まれた赤ちゃんに入院中から関わり、障害の早期発見や障害の軽減に努めていることも当理学療法室の特徴です。

運動療法主任 北出 雅也

【ふるさと紹介】 秋田県由利本荘市

私の故郷は、昨年の3月に1市7町が合併してできた秋田県由利本荘市です。

♪ハ～本荘～ハ～名物～焼山とわらび～♪と地元の民謡にあるようにのどかな田園風景が広がり、南には出羽の富士と呼ばれる「鳥海山」を仰ぎ、日本海に沈む夕日は絶景です。

今年の夏、秋田県代表で我が母校の本荘高校が甲子園に出場しました。残念ながら1回戦で負けてしまいましたが、18年ぶりの出場に地元も湧きました。

本荘は、鶴舞城跡を中心に広がる城下町で、京都から伝えられたという色鮮やかなリリアンで刺繍された“ごてん鞠”がおみやげとして喜ばれています。名物と言えば、地元では“稲庭うどん”よりも美味しいと好まれている“本荘うどん”がお勧めです。

また、秋田と言えば日本酒、“由利正宗”・“天寿”

と地元の銘柄も豊富です。どちらかと言うと甘口のお酒で女性向けのようです。

私の生まれた東由利は、黄桜が咲く里として有名で、黄桜温泉“湯楽里”

は滑らかな湯質で、毎日行楽帰りの方や地元のお客様でいっぱいです。ゆったりとした田舎家造りの建物で、地酒を堪能しながら一日をゆっくり過ごしてみたいかがですか。あきたの田舎で心の休日を持つのもよろしいのでは…。

東2病棟看護師長 佐々木奈美子



【今月の川柳】

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

玄関の 生け花にほっと いやされて
点滴の チューブが外され 自由の身
入院は 秋でもないのに 夜は長い